

科目名	ファーマドリル4			ナンバリング	PDR181	授業形態	演習
対象学年	4 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	福地祐司	担当教員	福地祐司、山浦政則、林正彦、吉川真一、山崎勝弘、住谷賢治、田島裕久、永田隆之、佐藤陽、角田大、石川 暁志、飯塚康人				

授業の概要	4年次前期までに学んだ教科を復習し、演習問題を解くことより理解を深め、確実な知識として定着させる。						
到達目標	薬剤師として必要な「基礎的な科学力」、「薬物療法における実践的能力」を修得するための基盤を固める。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	4年次前期までに学んだ教科を復習して授業に臨むこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
		1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
	○	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
		3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
		5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
4年までに学んだ薬剤師として必須な知識を有している。	4年までに学んだ薬剤師として必須な知識を応用して、問題解決を図ることができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○						100%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							

課題、評価のフィードバック	1 最終成績が60点未満の学生には、学習指導した後、再試験を受けさせる。 2 解答用紙は、学生から要請があればいつでも開示する。
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	実務演習(病院) (担当: 古川真一)	病院の実務に関連した問題の演習と解説	SBO:F(1)–(4)
	第2回	物理化学演習 (担当: 角田大)	物理化学に関連した問題の演習と解説	SBO:C1(1)–(3)、C2(1)–(2)
	第3回	実務演習(薬局) (担当: 永田隆之)	薬局の実務に関連した問題の演習と解説	SBO:F(1)–(5)
	第4回	化学演習 (担当: 山浦政則)	化学に関連した問題の演習と解説	SBO:C3(1)–(5)、C4(1)–(3)
	第5回	薬物動態演習(基礎) (担当: 福地祐司)	薬物動態の基礎理論に関連した問題の演習と解説	SBO:E4(1)–(2)
	第6回	衛生演習 (担当: 佐藤陽)	衛生化学、公衆衛生学に関連した問題の演習と解説	SBO:D1(1)–(3)、D2(1)–(2)
	第7回	製剤学演習 (担当: 新採用の教員)	製剤学に関連した問題の演習と解説	SBO:E5(1)–(3)
	第8回	医薬品情報学演習 (担当: 石川暁志)	医薬品情報学に関連した問題の演習と解説	SBO:E3(1)–(3)
	第9回	薬物動態学演習(臨床) (担当: 住谷賢治)	薬物動態の臨床応用に関連した問題の演習と解説	SBO:E4(2)
	第10回	法規・制度・倫理演習 (担当: 山崎勝弘)	薬事関連法規・制度・倫理に関連した問題の演習と解説	SBO:B(1)–(4)
	第11回	薬理学演習 (担当: 林正彦)	薬理学に関連した問題の演習と解説	SBO:E2(1)–(7)
	第12回	薬物治療学演習 (担当: 田島裕久)	薬物治療学に関連した問題の演習と解説	SBO:E2(1)–(7)
	第13回			
	第14回			
	第15回			
	試験	期末試験を実施する。		
授業の進め方		演習と解説を行う。		
授業外学習の指示		演習前に各教科の教科書・参考書、プリント等で復習して授業に臨むこと。演習後に理解が不十分であった部分は各自で理解できるまで復習すること。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	特に指定しない。担当教員ごとにプリントを配布する。
参考書	各教科の教科書
参考URLなど	なし。「manaba@IMU」に資料をアップする場合もある。
その他	